

クルアーンはどこから 来たのか?

決定的な歴史的真相:

公平な真相の探求者は、しばらく熟考することを疎かにはしません。イスラームの使徒ムハンマド様(祝福と平安あれ)はアラブ人ではありませんでしたか?

アラブ人は、自分たちの雄弁さと弁舌に長けていることを誇っていたことを歴史は伝えています。彼らの創作物といえば、詩や文学作品くらいでした。そのために集会や会合が催され、詩によって部族の地位は上がり、あるいはその詩集のなかで悪く言われた部族は地位が下がるのでした。歴史書や文学書が私たちに伝えるのは、詩でも散文でも誰かが言ったことには、それについて必ず批評、修正、反論されるものであるということです。これが彼らの競合であり、力を誇示し優越を示すものでした。一体どのようにして、彼に対する戦いのための努力を惜しまず、警戒するよう呼び掛けていた最大の敵対者たちにクルアーンと同じようなもの、あるいは一部でももたらしてみよと挑戦したのでしょうか。しかし、敵対者たちはその挑戦に対抗できず、ただただ沈黙、逃避するしかなかったのです。(雌牛章23節参照)

ムハンマド様はこの挑戦を恐れなかったのでしょうか!彼らの特に秀でていた能力、知識に関わることで挑発し、挑戦を受けて立つ個人または集団が競い合うことで論破され、虚偽であると証明されることを恐れなかったのでしょうか。

では、ムハンマド様が大胆な行動をとったのは、人々の能力を熟知していたからなのだ、と私たちは仮定してみましょう。では、どのようにして、その後の時代から復活の日まで、たとえ人々が一致団結したとしても、クルアーンと同様のもの、あるいはその一部ももたらすことができないと断言することができたのでしょうか。(夜の旅章88節参照)

